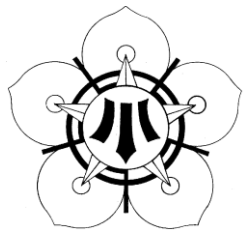


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



# くさぶえ

福生市立福生第七小学校  
令和6年度 学校だより

福生第七小学校  
ホームページ

URL  
<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>



所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 山岸 史子

令和6年9月30日 発行



かわいい子には旅をさせよ

校長 山岸 史子

最近、諺(ことわざ)が話の中に織り込まれる場面にあまり出会わなくなった気がします。改めて思い出して考えてみると、言い得て妙の、思わず唖って納得してしまうものばかりです。先人の知恵とは本当に学ぶべきものばかりです。

「かわいい子には旅をさせよ」という言葉もとても奥が深く、また広く人を育てるための極意が刻まれています。人の行く(生きる)道を旅に例えるあたりも粋だと感じます。



日光移動教室(6年)

学校はかわいい子どもたちに日々、「旅」をさせるところです。これでいいのかな、よく分からない、仲良くしたいのにうまくいかない…などの様々な困難が、子どもたちの生活にはあふれています。教員はついつい手を出して助けたくなる気持ちを抑えつつ、また時には敢えて課題を与えて見守り、子どもがこれまでの経験や仲間との協力によって、自分で解決して乗り越える達成感を得られるよう支援します。そうやって、自分の力で乗り越えたものは子どもの身になります。勝手にさせるのではなく、ずっと見守り、必要最小限の支援をして、「自分でできた」と思えるものにしてあげる大人の「いい加減」が重要です。苦しい時に味方になってあげるのは大事です。でも、その困難に対して子どもの代わりに戦ってしまうと、それは子どもの手を離れ、子どもの意図とは違うものとなり、実は子どもは困ってしまうものです。皆さんにもそんな困った経験はありませんか。

6年生は5月に予定していた日光移動教室が9月23日からの3日間に延期となり、先日行ってきました。直前で延期となったときには様々な思いがあったと思いますが、気持ちを切り替え、担任と共に再びの準備を楽しみに変えました。親御さんのいない生活の中で、きまりを意識し、自分のことに責任をもち、声をかけ合って協力して行動していました。バスガイドさんや日光彫の職人さん、東照宮のガイドさんなど、説明してくださる方の話を真剣に聞き、時にはメモをとりながら学ぶ姿もありました。お世話になる方々への挨拶、感謝の気持ちの表し方…下級生の皆さんのお手本としたい姿がたくさん見られました。当の6年生は、それでもきっと振り返ったらまだ反省するところがあり、より良い自分になるための新たな課題や目標を見つけてくれていると思います。

子どもはいくつになっても親から見たらかわいい「子ども」です。でも、大人が思っているよりずっと、自分でできる、自分が解決したいと思っているものだと思います。子どもの相談を真剣に聴き、「あなたはどうしたいの」とやさしく問いかけてください。(「やさしく」が大切です。聞き出すのではなく問いかけてください。)きっとお子さんが成長してきていることを実感できるような答えが返ってきます。